

小田急百貨店の社会貢献活動

小田急百貨店では、百貨店の集客力・情報発信力を生かし、お客さまの参加のもと、営業活動を通じて社会貢献に繋がる活動を行っています。以下に事例を報告いたします。

各種支援活動

駅直結のロケーションを生かし、商品販売や展示イベントなどを通じて、各種の支援につながる活動を行っています。

●未来のアスリートを支援する「七夕チャリティー」の実施【新宿店・町田店・藤沢店】

期間：2018年6月20日(水)～28日(木)

お客さま参加型企画として「～未来のアスリート達を応援～七夕チャリティー」を実施しました。

このキャンペーンは2020年に向けてスポーツへの関心が高まるなか、日本最大級のスポーツファッション売場「ハルクスポーツ」を新宿店に有する当社において、七夕にちなんで星に願いを込めるようにお客さまと一緒に未来の「星（スター）」選手を目指すアスリートたちの活躍を祈るべく企画されました。

各店でお買い物いただいたお客さまに星型のシールを配布し、専用のボードに貼付いただき、その貼付されたシール一枚につき10円を「スポーツ振興基金」に寄付しました。



左上 新宿店
左下 町田店

右 藤沢店

●「平成30年7月豪雨」による被災地の復興支援の実施【新宿店】

期間：2018年9月5日(水)～11日(火)

平成30年7月豪雨により甚大な被害に見舞われた岡山県・広島県・愛媛県の地域産品を販売し、復興支援を目的とした「平成30年7月西日本豪雨災害岡山・広島・愛媛 復興フェア」を実施しました。

このフェアはお客さまに被災地域の産品を購入いただくことで経済的支援に繋げることを目的とした取り組みで、各地から柑橘類や和洋菓子、調味料、雑貨などの産品を展開しました。期間中は現地から事業者の皆さんも来場され接客に当たられていました。

フェアの売上の一部を義援金として、日本赤十字社各県支部を通じて被災地に寄付したほか、会場に義援金ボックスも設置し、お客さまからの支援も募りました。



産学連携事業の推進

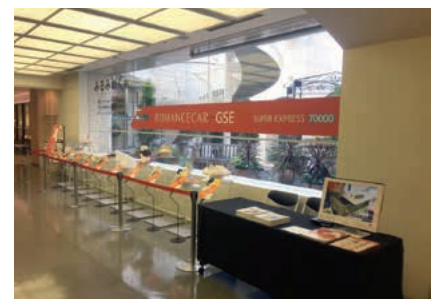
当社では、さまざまなイベントや商品の開発において、学校と連携し、学生が普段学んでいることを実務に生かす場を提供することで、学生と地域のお客さまを結ぶ活動を行っています。

●桜美林大学「みるみかく展～新型特急ロマンスカー・GSE in 箱根」【町田店】

期間：2018年7月25日(水)～8月8日(水)

町田店において夏休み期間に合わせて、桜美林大学芸術文化学群の学生の皆さんが、小田急線新型特急ロマンスカー・GSEに乗って行く箱根の魅力を広めるために、箱根の「食」に着目し、スイーツやグルメをモチーフにしたアクセサリアートを制作展示しました。

学生目線での箱根の魅力を伝える展示となり、町田地域のお客さまのみならず、様々な地域・世代のお客さまの共感を得られ展示会場は盛り上がりしました。



●相模女子大学「キッズサマースクール」【町田店】

期間：2018年8月7日(火)

相模女子大学が主催した、地域のお子さま向け体験教室「キッズサマースクール」に企業ブースとして参加しました。当社は「デパートのご挨拶とレジ打ち体験」を行い、デパートのおもてなしの挨拶や、商品の袋詰め、レジ打ちなど接客の体験を提供しました。この教室を通じて、お子さまたちに百貨店を身近に感じていただくことができました。



●山手調理製菓専門学校「オリジナルスイーツの制作・販売」【新宿店】

期間：2019年2月15日(金)～26日(火)

旬のいちごを紹介する「いちごフェア」において、山手調理製菓専門学校の学生が企画から制作まで手がけたオリジナルスイーツ「苺のシャルロット」と「プルミエ・アムール」を販売しました。昨年店頭で立ち販売されたパティシエ専攻2年生の皆さんが、その経験を生かして卒業制作の一環で2種類を考案。昨年秋から企画に取り組み、何度も試作やデザイン変更を繰り返した渾身のスイーツは、多くのお客さまから関心を集めていました。

